

# やわらぎ会通信 Vol.55

新年はいかがお迎えになられましたか？スタッフ一同元気に新年、顔を揃えました。本年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、暖冬といわれたこの冬、始めてみると記録的な積雪になるなど、雪の多い冬となりました。各地で雪の被害のニュースを聞くとなんと悲しい気持ちになります。スキー場では雪の多さゆえ閉鎖になったり、なだれが起きたりしているようです。広島市内でも何度か雪が積もりましたね。暖かい春まではもう少し時間がかかりそうです。インフルエンザや風邪にかからない様につけましよう。



## 年頭にあたって

医療法人やわらぎ会は今年3月に設立5周年を迎えます。これもやわらぎ会歯科診療所を受診して下さる患者様のおかげだと思感謝しております。

今年は医療費の改定の年にあたるため、いろいろな改革がなされると思われませんが、治療の本質に変化があるわけではないので、誠心誠意、今まで通りの医療サービスを提供させていただきつもりです。どうかよろしくお祈りします。

ご参考までに別紙（平成18年度診療報酬改定に係る検討状況について）を同封しますのでご覧ください

やわらぎ会歯科診療所では保険診療は半澤歯科医が、自由診療は藤田歯科医が担当させていただいております。保険診療と自由診療の違いを一言で言えば、厚生省の想定内の治療が保険診療で、想定外の治療が自由診療になるといえます。

例えば診療にかかる時間で言えば、保険診療では厚生省は1時間に4人の患者数を基本モデルにしていますが、自由診療では1~2時間に1人が基本になります。使用する材料においては、保険診療では貴金属やセラミックは使えませんが、自由診療では使うことができます。また保険診療では、歯並びやかみ合わせの治療は想定していませんので自由診療で行わなければなりません。

医科ではほとんどのことが保険でできますが、歯科ではそれができないことを残念に思います。

しかしながらこれからは医科でも歯科でも生活習慣病(歯科で言うとむし歯・歯周病)の予防に重点がおかれる時代になってきます。

そのために予防コーナーを新設しました。皆様のお役に立てれば幸いです。

理事長 藤田和也



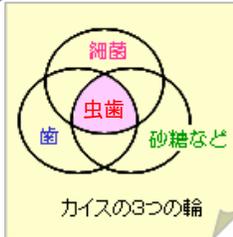
健康保険証を確認しますので毎月、月初めにお持ち下さい。

## 耳よりコーナー



### 虫歯予防のポイント

細菌の輪、砂糖の輪を小さくすること  
歯の質を強くすること



### フッ素を有効に利用しよう

フッ素を利用するためにはどうしたらよいでしょう。

- 1)食べ物から。フッ素は自然界にも存在し、食べ物にも含まれています。代表的なものとしては緑茶、貝・海藻類などです。
- 2)歯磨き剤への配合。日本では1,000ppm以下とされています。
- 3)フッ素歯面塗布。プロフェッショナルケア用とホームケア用とあり濃度に違いがあります。

フッ素配合の歯磨き剤とフッ素ジェルは当院でも扱っています。フッ素のジェルは大人、子供にあわせてフレーバーも揃えています。またサンプルなども用意していますので、スタッフにご相談下さい。



お年玉付年賀はがきの景品の交換はお済みですか？

ボクの名前はアトムだよ。

別に私は郵政公社の回し者ではありませんが、やはり年賀状はもらうとうれしいものですね。特に今年の年賀状は、さながら愛犬自慢の紙上公開のようで楽しかったです。ちなみに我が家にも8才になるオスのコーギー犬がおり、実は戌年を待ちわびていたので恥ずかしげもなく愛犬の写真を年賀状にしました。



景品の交換は7月18日までだそうです。今年はドッグイヤー\*（戌年）だけに7倍の速度で時間が流れそうですから、どうぞお早めに。（\*ドッグイヤー...犬の1年は人間の7年に相当する。3歳の犬は人間に例えると21歳になるそうです。）

一月は往く、二月は逃げる、三月は去るといいますが、年々一年が早くなると感じるのは、齢のせいでしょうか。せめて愛犬との散歩は、歩幅に合わせてゆっくり歩きたいのですが。（藤田資子）



同封していますレプト（保険診療報酬の明細）のコピーは平成17年12月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成18年 1月20日号  
編集発行人 藤田 和也  
編集者 下野 あゆみ